

2024年(令和6年)度 事業報告書
2024年1月1日～2024年12月31日
特定非営利活動法人 Earth as Mother

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Earth as Motherは、「全ての人と自然と共に生きる」事を基本とした「生活様式」を6つの理念を基に構築し、未来の子ども達に心も身体も健康に笑顔で暮らせる地球を渡していく事を目的とし2007年設立、2008年内閣府認証。

社会、人間が抱える諸問題として、環境破壊、心身破壊が有り、地球の再構築が必要と考える為、具体的な取組として2009年から愛知県豊田市や犬山市羽黒や岡崎市幸田にて活動を開始。2010年からは、豊田市藤岡・下川口・池島町でビオトープや冬水田んぼを始め、生き物が集まる自然耕が出来、農業が始まり、2016年から豊田市藤岡・猿投町が活動の中心。2019年からは日進市での農業と福祉による事業構築を始めた。名古屋市、豊田市、日進市を拠点として活動。

2024年度は定款5条にある7項目の事業を実施。他団体交流では、中京大学とのイベント協働事業、愛知県立大学からインターンシップ受入れを継続。毎年恒例の圃場での企画、環境イベントとして酷暑の中圃場での生き物調査を実施。また市民農園事業継続。食農事業では、昨年に続き圃場全般の整備、土づくりを実施。また11月上旬まで猛暑となり農作物の収穫に大きな影響を受けた。食農イベントでは田植え、稲刈りを実施。他に農事ボランティアを募集、当会の活動趣旨を伝え、丁寧な対応を心がけることにより継続しての参加者が増加。生活困窮者等就労準備支援事業では、日進市の委託を継続実施。また日進市市民自治推進補助金事業として引きもり等支援の講演会を開催。食育推進事業では、農林水産省消費・安全対策交付金（愛知県 地域での食育の推進事業）の助成を受け、教育ファーム検討委員会、にっしんスタジオアグリFOOD EDUCATIONと題したシンポジウム、伝統料理講座にて『にっしん夏定食をつくろう』を実施。伝統料理講座では、完全オーガニックの野菜を使い、共創共食。食育イベントとして「食農感謝祭」を豊田市当会圃場にて開催。食育部門が年間を通じて圃場でのイベントで食事を提供。委託事業として、日進アグリスクール「オーガニック米作り体験コース」「オーガニック野菜作り体験コース」を開催。また日進市制30周年記念市民公募事業補助金事業として「にっしん食の学校」を開催し、五平餅作りや「弁当の日」上映会、竹下和男氏講演会と食育・共育についての啓発の機会を提供。

豊田市藤岡、猿投地区、日進市の田畑では、農業後継者が激減していく中、遊休農地や耕作放棄地が増えた問題や国内自給率低下等の課題を踏まえ、地産地消を促す有機循環自然農法を実践し、自然との共生の大切さ、生命を育む自然の営みや尊さを学ぶ活動を通じて伝え、安心安全な農薬、除草剤、化学肥料不使用の完全オーガニック氣力野菜、氣力米を作り、ボランティアを受入れて親子や一般参加者が農業に関わる環境を継続的に提供。

健康で持続可能な地域社会を基盤とするコミュニティ構築を形成出来る様に活動を推進し、愛知県より岐阜県、三重県、千葉県、兵庫県、青森県、東京エリア等の県外にも理念の普及啓発とマザリーアースプロジェクトの賛同実践者を増やし、会員増強に努める。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、福祉、健康促進事業及びそれらを支援する事業。
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 食育を推進する事業。
- ⑦ 農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

【①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業】

事業の成果

WEBシステム利用による情報発信、活動紹介パネルの展示(にしんわいわいフェスティバル)、中京大学今井ゼミとの連携事業、愛知県立大学学生インターンシップを通じ団体交流を実施。

(ア) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／WEBシステム」

事業内容

WEBシステム利用の活動はメール配信にてイベント、セミナー、ボランティア等の発信。会員以外の方への情報発信は、Facebookや「とよたまちさとミライ塾+(プラス)」のサイトで応募を実施。

豊田市の公的広報「とよた市民活動センター」のHP、日進市の月刊「広報にしん」、「東海農政局食育メールマガジン」、愛知県「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報を掲載。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (WEBシステム)	メール配信、公的な広報等にてイベント、セミナー、ボランティア等の発信を行う	(A) 2024年(R6) 1月1日～ 12月31日 (B) 当会事務所等 (C) 24人 (2回/月)	(D) 会員、一般県民市民 (E) 不特定多数	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 24人）

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

年間を通じてコンスタントに情報配信が出来た。

WEBシステムからの情報が繋がるよう個別の連携等を大切にしていく。

(イ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／他団体交流」

事業内容

「にしんわいわいフェスティバル2024」に出展。

日進アグリスクールの活動パネル展示や当会の活動紹介、ボランティア募集、チラシ配布等啓発活動を実施。又、今回はニッシーの粘土教室を開催予定だったが担当者出張の為中止。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (他団体交流)	にしんわいわいフェスティバル2024にて日進アグリスクール活動紹介等を行う	(A)2024年(R6)7月6日 10:00～15:30 (B)日進市民会館 (C)2人	(D)日進市民等 (E)不特定多数	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 2人）

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

ニッシーの粘土教室の体験型ブース出展であれば、対話する時間が増えるのでより充実した啓発活動が出来るが、現段階では1名の担当者で人員不足が課題。



(ウ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／他団体交流」

事業内容

「にっしん夢まつり」に出展。

広報や食品の販売、昔ながらの粍摺り体験を実施。

又、今回は日進市のマスコット「ニッシー粘土教室」開催予定だったが担当者出張の為中止。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (他団体交流)	にっしん夢まつりに出展 内容を当会活動紹介に変更	(A) 2024年(R6) 9月15日 9:00～19:30 (B) 日進市役所 (C) 5人	(D) 日進市民等 (E) 0人	18,484円

(2) 総費用 (無償ボランティア 5人)

総合計 18,484円

(内訳)

・消耗品費 3,484円

・広告宣伝費 15,000円

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

来場者の動線が良く、ステージ出演者が終わった後に通る様にされていたので立ち寄る方が多かった。粍摺り体験を行った事により、その間に親御様に当会の活動紹介する時間が取れて啓発出来た。食品もほぼ完売になるほど販売出来た。



(エ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／他団体交流」

事業内容

中京大学総合政策部今井ゼミとの連携事業「田んぼであそぼう！お宝草抜きバトル」を開催。昨年度に開催した除草のイベントを、今年度担当になったゼミ生3年生5名が中心となって充実した内容で実施。日進アグリスクール米づくり体験コース内で企画のチラシを配布し参加者募集。「田んぼでポートボール&米クイズ」「お宝草抜きバトル」の2つの競技を親子で参加。米づくりの裏側や、お米や農に関する知識を楽しみながら知る機会となる。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (他団体交流)	中京大学今井ゼミ「田んぼであそぼう！お宝草抜きバトル」の協働事業（日進アグリスクール米づくり体験コースのオプション企画）	(A) 2024年(R6) 7月13日 9:30～12:00 (B) 日進市米野木 圃場 (C) 21人	(D) 日進アグリ スクール米 づくり体験 コース参加 者 (E) 17人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 21人）

総合計 0円

（内訳）

(3) 収益

総合計 0円

（内訳）

(4) 反省点・改善ポイント

1家族に1スタッフを配置し、ゲーム進行が円滑に進んだ。

参加者が当日減ってしまった際の臨機応変の対応が求められる。



(オ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／他団体交流」
事業内容

中京大学総合政策部今井ゼミとの連携事業 日進ツアーズ「お米になろう！？ごはんの人生すごろく」を開催。

7月に行った「田んぼであそぼう！お宝草抜きバトル」に続き、今井ゼミの3年生5名が中心となって、日進ツアーズのプログラムとして実施。当法人は協力という形で携わり、当日は9家族が参加。田圃2枚全体使ったすごろくで、参加者自身が駒になって進む大きなリアルすごろく。すごろくのマスには、お米に関する情報や知識がちりばめられ、収穫されたお米がどういう過程を経て加工品として生まれ変わるかという一連の流れを楽しみながら、お米に関する知識を身に付ける事が出来る企画。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (他団体交流)	中京大学今井ゼミ 「お米になろう！？ごはんの人生すごろく」の協働事業 (日進ツアーズ)	(A) 2024年(R6) 10月13日 9:30～12:30 (B) 日進市米野木圃場 (C) 19人	(D) 日進ツアーズ申込者 (E) 9家族 22人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 19人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

(今井ゼミ内での学生の振り返り)

スケジュール通り進んだ。

昨年度の課題を改善できた。

シミュレーションが不足していた為、前日まで中身が固まらなかった。

来年度のアグリスクール参加に繋がりそうな方がいた。



(カ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／他団体交流」
事業内容

「道の駅開駅前シンポジウム」に出展。

令和7年夏、「道の駅 マチテラス日進」開駅予定。今回、「道の駅開駅前シンポジウム」(にしん観光まちづくり協会主催)にブース出展。日進アグリスクールの活動パネル展示等の活動紹介、チラシ配布等の広報活動、味噌・完全オーガニック野菜の販売を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (他団体交流)	「道の駅開駅前シンポジウム」に出展 活動紹介、広報、 完全オーガニック 野菜販	(A) 2024年(R6) 10月6日 10:00～16:00 (B) 日進市民会館 (C) 4人	(D) 日進市民等 (E) 不特定多数	0円

(2) 総費用(無償ボランティア 4人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

出展参加の申込が遅れた。イベント内容を把握し内部共有する事が重要。
会の活動紹介の場として有意義な出展機会となる。



(キ) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／その他」

事業内容

I-TEN(株)様の経営と従業員に対しての相談指導。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (その他)	会社の経営と従業員に対しての相談指導	(A)月1回 (B)事務所又はリモート (C)24人	(D)会員対象 (E)1人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 24人）

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 600,000円

(内訳)

・I-TEN(株) 顧問料 600,000円

(ク) 「①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業／その他」

事業内容

本年度も継続して愛知県立大学より学生インターンシップの受入れを実施。令和5年度農林水産省消費・安全対策交付金事業、愛知県地域での食育の推進事業のにつきんスタジオアグリFOOD EDUCATIONや教育ファーム検討委員会へ参加。企画や準備内容を学び、参加者との交流を図るなどキャリア教育の一環となる。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEB等を利用した情報発信及び異業種産業交流を行う事業 (その他)	(農林水産省、消費・安全対策交付金) 令和5年度教育ファーム検討委員会in愛知県立大学	(A)2024年(R6) 2月2日 9:00~10:30 (B)日進 愛知県立大学 (C)2人	(D)愛知県立大学生徒 (E)2人	0円

①WEB等を 利用した情報 発信及び異業 種産業交流を 行う事業 (その他)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令 和5年度教育ファ ーム検討委員会in愛知 県立大学	(A) 2024年(R6) 2月8日 9:00～10:30 (B) 日進 愛知県立大学 (C) 3人	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 2人	0円
①WEB等を 利用した情報 発信及び異業 種産業交流を 行う事業 (その他)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令 和5年度第4回教育 ファーム検討委員会	(A) 2024年(R6) 2月27日 10:00～11:45 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 2人	0円
①WEB等を 利用した情報 発信及び異業 種産業交流を 行う事業 (その他)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令 和5年度第5回教育 ファーム検討委員会	(A) 2024年(R6) 3月9日 10:00～11:00 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 2人	0円
①WEB等を 利用した情報 発信及び異業 種産業交流を 行う事業 (その他)	(農林水産省、愛知県 地域での食育の推進 事業) にっしんスタジ オアグリ FOOD EDUCATION 2024 in にっしん」 として映画上映、 講演会、パネルディス カッションを実施	(A) 2024年(R6) 3月9日 13:00～16:45 (B) 日進市民会館 小ホール (C) 14人	(D) 愛知県立大 学生徒 (E) 2人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 25人)

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

今回初めて愛知県立大学内での教育ファーム検討委員会を学生向けに実施したところ、大学関係者とも交流する機会となる。



【②自然再生と環境の保全活動を支援する事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

自然再生と環境の保全活動を支援する事業は、環境セミナーとしてマザリーアースプロジェクトセミナーを開催。環境イベントとしては、毎年恒例の田んぼの生き物調査を実施。

寺子屋ものづくりは、ニッシー粘土教室を予定していたが担当者不在の為実施せず。

(ア) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境セミナー」

事業内容

マザリーアースプロジェクトセミナーを開催。

本年度も、総会後に開催し、愛知の各事業部と青森、千葉、岐阜、三重、兵庫各支部、東京エリアの活動を発表。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	マザリーアースプロジェクトセミナーを開催 各エリア、支部活動発表	(A) 2024年(R6) 3月16日 13:30～16:30 (B) ウィルあいち セミナー ルーム 1, 2 (C) 10 人	(D) 会員・一般 (E) 40 人	0 円

(2) 総費用（無償ボランティア 10人）

総合計 0 円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0 円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

本部、各支部の活動を共有することにより、相互啓発の機会となる。

当会の活動原点となる地球環境破壊についての認識も共有出来た。



(イ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境イベント」

事業内容

環境イベント「自然と共生する田んぼで生き物みつけ」を開催。

年4回の豊田市での主たるイベント第2回目をとよたまちさとミライ塾+プログラムにて実施。自然の中で生き物と共生している事を体験学習。自然あふれる完全オーガニック（農薬、化学肥料、除草剤不使用）の安心・安全な圃場にて子どもたちが楽しく駆け回り、カエルやトンボ、絶滅危惧種のヒメタイコウチ等いろんな生き物を調査。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	第1回 環境イベント 「自然と共生する田んぼで生き物みつけ」を開催	(A) 2024 年(R6) 8月4日 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 12 人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 15人	3,600 円

(2) 総費用（無償ボランティア 12人）

総合計 3,600円

(内訳)

・賃借料 2,400円 ・保険料 1,200円

(3) 収益

総合計 24,000円

(内訳)

参加費

・大人（高校生以上） 21,600円（1,200円×18人）
 ・小中学生 0円（200円×0人）
 ・未就学児 0円（0円×5人）
 ・スタッフ 2,400円（200円×12人）

(4) 反省点・改善ポイント

田んぼの中にも入れる様に、開催時期を少し早める事も検討する。

集客についてはとよたまちさとミライ塾+での集客が多い、来期も同様に行う。

動植物の観察により知り、学びの多い一日となる。



(ウ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境イベント」

事業内容

2021年開催環境イベント「椎茸菌打ち体験」にて植菌した原木椎茸が発生、収穫し販売。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	原木椎茸の収穫、販売	(A)2024年(R6) (B)豊田市猿投町 (C)2人	(D) — (E) —	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 2人）

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 4,400円

(内訳)

・椎茸売上 4,400円

(4) 反省点・改善ポイント

3年前に植菌の椎茸を販売出来た。原木椎茸の栽培は自然との共生により農産物が育つ事を体験を通じて学ぶ機会の一つとなる為、今後も開催を検討する。

(エ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／市民農園」

事業内容

市民農園マザリーアースの管理運営。

市民農園の運営を豊田市共働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。

6期を迎えた2016年度より当法人の自主事業運営となる。また市民農園指導教室は開催案内を広報したが、2回とも参加者が無く中止。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (市民農園)	市民農園	(A) 2024年(R6) 1月から12月迄 随時受付 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 5人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 13人	81,475円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (市民農園)	土づくり教室 青空交流会 開催中止	(A) 2024年(R6) 6月9日 9:30～13:00 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 0人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 0人	1,258円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (市民農園)	野菜づくり教室 青空交流会 開催中止	(A) 2024年(R6) 11月10日 9:30～13:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 0人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 0人	770円

(2) 総費用(無償ボランティア 5人)

総合計 83,503円(81,475円+1,258円+770円)

(内訳)

・諸謝金講師料	0円(2人無料)	・仕入高NPO	7,244円
・通信運搬費	3,786円	・支払手数料	60,000円
・消耗品費	8,471円	・車両費	848円
・地代家賃	2,604円	・銀行手数料(管)	550円

(3) 収益

総合計 140,244円

(内訳)

・市民農園利用料(12人)	140,244円
1区画利用者	5,500円×5名=27,500円(5区画)
2区画利用者	11,000円×3名=33,000円(6区画)
3区画利用者	16,500円×3名=49,500円(9区画)

- 4区画利用者 22,000円× 1名 = 22,000円 (4区画)
- ・前受金2024年1～3月分 30区画分差引 41,220円
- ・前受金2025年1～3月分 24区画分差引 ▲32,976円

(4) 反省点・改善ポイント

集客については、ハガキ・チラシ等の発信が遅かった為参加者が集まらなかった。
情報の発信は早め早めに行い利用者や一般の方、イベント参加者の集客に繋げていく。
誰を対象とするのか、企画を考え決定しチラシやSNSで配信する。

(オ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境保全」

事業内容

第1回 にっしんESD事業「知らなきや損するにっしん自然財宝み～つけた!!」を開催。
今回、初めて日進市環境課の業務委託事業「令和6年度コミュニティ公募提案型〔にっしんESD事業〕」に応募、目的・テーマに即していると承認され受託。第1回目の講座は座学を開講。又会場に東部丘陵地周辺に生息する動植物の写真パネルを他の環境団体より借りて設置。黒田忠晃理事より日進市第2次環境基本計画概要の説明後、外部講師を招いての東部丘陵の生態系や希少生物の実態等の生物多様性を学習。自然と環境保全、耕作放棄地の持続可能な維持管理や対策を各グループに分かれてワークショップを行い、様々な視点よりアイデアと意見を共有。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境保全)	自然と人が共生する地域社会を創る 「環境・健康・食農」 共育事業として講座とワークショップを開催。 第1回 にっしんESD事業「知らなきや損するにっしん自然財宝み～つけた!!」	(A) 2024年(R6) 7月7日 9:30～11:30 (B) 日進市にぎわい交流館2階会議室 (C) 3人	(D) 日進市民、 会員 (E) 13人	35,498円

(2) 総費用（無償ボランティア 3人）

総合計 35,498円

(内訳)

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| ・諸謝金 | 32,000円 | ・印刷製本費 | 1,200円 |
| ・旅費交通費 | 500円 | ・消耗品費 | 1,798円 |

(3) 収益

総合計 44,528円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

自然と共生する社会づくりの大切さや生物多様性への関心が高まり、環境保全型農業（オーガニック・有機循環農業）への理解が深まった。引き続き多様な啓発活動を行い、関心を持ち賛同する市民や会員を増やす事が重要。



(カ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／環境保全」

事業内容

第2回 にっしんE S D事業「知って得するカラダとココロの健康食と自然観察」を開催。第2回目はフィールドワークを実施。日進市総合運動公園より晩秋の公園内植物の様子や生息する昆虫を観察しながら、東部丘陵（岩藤川～新池）天白川源流への生物多様性や耕作放棄地になりつつある農地の環境保全、食と健康の関係性を学習。感想アンケートでは、沢山の虫や植物を見つけて普段出来ない自然体験を楽しめたと盛況。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(B) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境保全)	自然と人が共生する地域社会を創る「環境・健康・食農」共育事業としてフィールドワークを開催。 第2回にっしんE S D事業「知って得するカラダとココロの健康食と自然観察」	(A) 2024年(R6) 11月10日 9:30～12:00 (B) 日進市総合運動公園～東部丘陵地 (C) 3人	(D) 日進市民、 会員 (E) 15人	36,140円

(2) 総費用（無償ボランティア 3人）

総合計 36,140円

(内訳)

・諸謝金	33,000円	・印刷製本費	2,040円
・旅費交通費	500円	・保険料	600円

(3) 収益

総合計 44,528円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

第1回目の講座より参加している受講者は実際の自然観察（フィールドワーク）に参加する事で、生態系サービスの重要性をより深く認識し理解出来た。目的である「大切な地域資源を知る・自然環境を守る理解者を育てる・環境保全型農業の支援者を募る」成果へと繋がった。生態系サービス（生物多様性等）の存続を次世代へ引継ぐには、継続的な市民や会員への啓発活動が有用であると考えます。



(キ) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／寺子屋ものづくり」

事業内容

にしんわいわいフェスティバル2024にて、日進市のマスコット「ニッシー粘土教室」の出展を検討していたが、ものづくり担当者不在の為日進アグリスクール活動紹介に変更。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	日進アグリスクール活動紹介に変更	(A) 2024年(R6) 7月6日 10:00～15:00 (B) 日進市民会館 (C) 0人	(D) 日進市民等 (E) 0人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0 円
(内訳)

(ク) 「②自然再生と環境の保全活動を支援する事業／寺子屋ものづくり」

事業内容

にしん夢まつりにて、日進市のマスコット「ニッシー粘土教室」の出展を検討していたが、ものづくり担当者不在の為当会の活動紹介に変更。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋 ものづくり)	当会活動紹介に変更	(A) 2024年(R6) 9月15日 9:00～19:30 (B) 日進市役所 (C) 0 人	(D) 日進市民等 (E) 0 人	0 円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0 円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0 円
(内訳)

【③保健、医療、福祉、健康促進事業及びそれらを支援する事業】

事業の成果

※ 講師等役職名前は敬称略

心の学校メンタルヘルスのワークショップは、心のあり方やものの見方考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として、物事の考え方、言葉の使い方、生き方を変える事で「プラス思考」に言葉遣いを変えていく事で、人生観が変われる生き方を指導。物事の考え方を変えるだけで、悩みが解消されて心の問題が解決に変わっていく。解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンドラ思考を通して自己改革自己啓発の仕方を指導。

(ア) 「③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業／福祉」

事業内容

ワークショップ形式セミナーを愛知で開催してきたが、今年度も講師である山本理事長の体調不良により中止。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
③保健、医療、 福祉、健康促 進事業及び それらを支 援する事業 (心の学校)	心の学校メンタルヘルス 開催中止	(A) — (B) — (C) 0 人	(D) — (E) 0 人	0 円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0 円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0 円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

次年度は形を変えての実施を検討する。

【④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業】

事業の成果

※ 講師等役職名前は敬称略

農事食農活動は「心の学校の課外授業」として位置付けられ、マザリーアースファームで年2回の食農イベントを開催。1回目は親子で楽しむ素手での田植え体験を実施。2回目は稲刈りと五平餅づくり体験を「とよたまちさとミライ塾+（プラス）」のプログラムの一つとして実施。両日とも好天に恵まれ、食育・食農の大切さを伝える良い機会となる。

農事食農活動を通じて豊田市猿投町別所と藤岡飯野町の圃場で、障がいを伴う方々（自閉症、知的障害、発達障害等）、うつ病、生活困窮者、被保護者の方々や岐阜支部東濃エリア（土岐市）からも受入れ、就労準備支援や訓練の場として使用。日進市本郷町、米野木町圃場でも同様に「いくるばにっしん」就労準備支援の利用者が体力向上や社会へつながる一歩として活用。

当会の目指す地域共生社会づくりの一環として行政各機関との協働、市民や会員活動の共働共生を目指し、有機循環自然農法（農薬、化学肥料、除草剤不使用）完全オーガニックの安心安全な作物作りを実践。

農業従事者が減少して食料危機が起きると心配される中、耕作放棄地や遊休農地等による農地荒廃や解消対策を有機循環自然農法の啓発と普及を会員や一般者、学生を含むボランティアに向けての実践指導。

完全オーガニックの米や野菜は、農薬・化学肥料・除草剤不使用の為、安全・安心に食せ、栄養的にも優れ安全で健康維持増進に役立ち、野菜本来の風味が美味しいと好評。

このような農産物や食材のお米や野菜を提供出来る食農イベントで、様々な体験を通じた食の

大切さを伝える機会を増やし、心身共に健康で持続可能なコミュニティと地域社会の再生を促進し、半農半就の環境保全型農業を实践する事で生態系や生物多様性に関心を持ち、自然の恵みに感謝し、生き物や自然と共生する心を育み、人と人々が共に助け合う互助の精神で農業と福祉を基盤とする自給圏経済のコミュニティ構築を目指して実践実行中。

又、有事において、食糧危機や災害時に生き残る為には自然の叡智と智慧から学び、自然と共生し 人が優しく寄り添い共生する愛に満ちたコミュニティを構築する事が必要。大人である私たちが使命感を持って実践実行し、次世代を担う子どもたちや若い世代、学生ボランティアを積極的に受け入れ6つの活動理念の共有をしていく。

(ア) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／農事事業」

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (農事事業)	自動車等修善費 自動車保険 集落協定	(A) 2024年(R6) 1月1日～ 12月31日 (B) — (C) —	(D) — (E) —	255,245円

(2) 総費用

総合計 255,245円

(内訳)

・修繕費 119,075円

・支払手数料 330円

・保険料 102,040円

・租税公課 33,800円

(3) 収益

総合計 10,900円

(内訳)

・農事事業部集落協定 10,900円

(イ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／食農イベント」

事業内容

「第1回食農イベント 田植え」を開催。

第1回食農イベントとして、峰のむらさきの田植え・苗取り体験を実施。

当日は五月晴れの爽やかな空の下で、約1反の田んぼに一列に並んで6千株程度を植え付け。数年ぶり参加の方、昨年雨天中止で今回初参加の家族、継続して参加の方々等により、約2時間で田植え終了。農薬、化学肥料、除草剤不使用の田んぼで、生き物とふれあい、風の匂いや泥の感触を楽しみながらの気持ち良い時間を共有。昼食は食育よりお弁当形式

で提供。

「第2回食農イベント 稲刈り（とよたまちさとミライ塾+（プラス）」を開催。

第2回食農・食育イベントを「お米の稲刈りと五平餅作り体験」と題し開催。

本年も、とよたまちさとミライ塾+のプログラムのひとつとして企画。

食農体験として峰のむらさきの稲刈り・稲わらしぼり・はざがけ体験を行い、食育体験として五平餅づくりと試食を実施。昨年本年と継続の家族も参加。

稲刈り体験は、約一反の圃場に実った峰のむらさきを参加者が一列に並んで刈り進み、親子や家族間で刈り残しが無い様に協力して刈り取り、手際よくしぼりとハズ掛け迄完了。当日は好天に恵まれ、汗をぬぐいながら稲刈り体験や虫追い、水遊びを楽しむ姿があった。五平餅作り体験は峰のむらさき入りのご飯を使用し、整形のみを行い、味噌塗りや焼きはスタッフにて実施。旬の野菜の味噌汁も提供。食農と食育の大切さを伝える良い機会となる。

（1）開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	親子で楽しむ♪食農・食育体験 むらさきのお米の田植えをしよう！を当会豊田市圃場にて開催。	(A) 2024年(R6) 5月8日 9:30～13:00 (B) 猿投棒の手会館裏当会圃場 (C) 14人	(D) 自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (E) 33人	1,400円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	昔ながらの稲刈り体験と完全オーガニックのお米、お味噌を使った五平餅作りを当会豊田市圃場にて開催。	(A) 2024年(R6) 10月13日 9:30～13:00 (B) 猿投棒の手会館裏当会圃場 (C) 11人	(D) 自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (E) 55人	2,000円

（2）総費用（無償ボランティア 25人）

総合計 3,400円 (1,400円+2,000円)

(内訳)

- ・賃借料 1,600円 (800円+800円)
- ・保険料 1,800円 (600円+1,200円)

（3）収益

総合計 38,800円 (13,600円+25,200円)

(内訳)

○「親子で楽しむ 食農・食育体験 むらさきのお米の田植えをしよう」(5/8) 13, 600円

- ・大人(高校生以上) 10, 800円(1, 200円× 9人)
- ・小中学生 400円(200円× 2人)
- ・未就学児 0円(0円× 2人)
- ・スタッフ 2, 400円(200円×12人)

○「昔ながらの稲刈り体験と完全オーガニックのお米、お味噌を使った五平餅作り」(10/13)

25, 200円

- ・大人(高校生以上) 21, 600円(1, 200円×18人)
- ・小中学生 1, 400円(200円× 7人)
- ・未就学児 0円(0円× 8人)
- ・スタッフ 2, 200円(200円×11人)

(4) 反省点・改善ポイント

多くの方に参加してもらえるように、集客の工夫を行う。

田植えは気候の良い時期こち良い田んぼの土に触れ、また当会の活動を知ってもらえる重要な場であり、ボランティアでの農事活動参加者に簡単なチラシや案内を渡して誘う等早くから周知を進め、一緒に田植えを行う方々を増やしていく。

今回もとよまちさとミライ塾+のプログラムとして開催。普段接点のないより広い層の方々が参加。これらの方々にも当会の活動周知の機会であり、楽しく体験や食事をしてもらうと共に、会の活動をアピールする場として活用していく。米作りの一連の流れや完全オーガニックでお米を作る事の工夫や難しさなどについて、パネルで見てもらうだけではなく言葉で伝える機会を作っていく。

**(ウ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／マルシェ」****(1) 開催日時**

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進する	農産物の生産・販売	(A)2024年(R6) 1月1日～ 12月31日	(D)一般・会員 (E)不特定多数	1,143,090円

コミュニティ の構築事業 (マルシェ)		(B) 当会イベント 会場等 (C) 550 人		
---------------------------	--	--------------------------------	--	--

(2) 総費用（無償参加ボランティア 延べ550人）

総合計 1, 143, 090円

(内訳)

仕入、棚卸関係 367, 315円

・当期仕入高	398, 678円	・期首棚卸高	72, 090円
・期末棚卸高	▲103, 453円	・租税公課	13, 200円
・車両費	104, 761円	・広告宣伝費	16, 610円
・通信運搬費	19, 484円	・支払手数料	17, 295円
・消耗品費	247, 585円	・修繕費	34, 782円
・水道光熱費	58, 959円	・地代家賃	24, 000円
・賃借料	8, 800円	・保険料	47, 900円
・減価償却費	182, 389円	・租税公課（管）	10円

(3) 収益

総合計 942, 201円

(内訳)

・売上高	846, 374円		
＜宅配販売＞	0円		
＜マルシェ販売＞	846, 374円		
・雑収益	27, 640円	・受取寄附金	68, 114円
・受取利息	73円		

(4) 反省点・改善ポイント

夏の酷暑もあり、全体的に農作物の生産物が少ない。

イベントでは数少ない野菜や食材を活用し、創意工夫された献立を食育委員スタッフが提供、好評を得る。今後も引き続き、作物栽培の技術を磨き生産体制の立て直しを図る。

(エ) 「④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業／農事体験」

事業内容

本年度は実施せず。

【⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業】 ※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

平成28年3月より豊田市認定 生活困窮者自立支援就労訓練事業所開設。

令和3年(2021年6月～)日進市生活困窮者等就労準備支援事業を受託開始。

岐阜支部、千葉支部における事業及び業務支援。

令和6年度も引き続き「日進市生活困窮者等就労準備支援事業」の受託し、利用者の支援を

実施。持続可能な地域共生社会を目指して「生活困難を抱える若者やひきこもりなどの支援と地域づくりに関する講演会」開催。

(ア) 「⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業／生活困窮者」

事業内容

令和6年度はプロポーザルへ応募し事業を再受託。前年度同様の月・水曜日の開設に加えハローワーク巡回就労相談日の第2第4金曜日の相談支援日を開設。令和3年～4年度に就労した利用者の定着就労フォローアップや引きこもり等から就労意欲を喚起し、社会復帰を目指す若者利用者や被保護者の利用者も増え、当会企業会員（業務連携事業者）による社会学講座や職場見学、協働での食農食育（自炊）プログラム・農事作業訓練を通じた支援や関係諸機関くらしサポート窓口及び日進市障害者支援センターとの綿密な連携を図り、より充実した体制で伴走型支援を実施。その結果、継続利用の1名が就活し正社員として就労。

その他、岐阜支部、千葉支部における社会的居場所事業や就労準備支援事業、重層的支援体制整備事業等の社会的包摂推進事業業務全般について助言指導。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑤生活困窮者等 就労準備支援、 社会的包摂推 進に係る事業 (生活困窮者)	生活困窮者自立支援制度に基づいた就労準備支援事業を受託し、生活困窮に至る恐れがある人で、自立がみこまれる人の支援	(A) 2024年(R6) 1月4日～ 12月27日 (B) 千葉県野田市 岐阜県 土岐市 飛騨市 愛知県日進市 (C) 2人	(D) 豊田市 日進市 一般・会員 (E) 就労訓練等 豊田市 25人 就労準備支援 日進市 324人	6,032,927円

(2) 総費用

総合計 6,032,927円

○人件費用

(内訳)

・正会員従事者(2人)

・給料手当 5,117,300円

・法定福利費(事) 96,569円

○その他経費

・印刷製本費 17,160円

・通信運搬費 110,938円

・新聞図書費 2,129円

・旅費交通費 10,840円

・消耗品費 22,843円

・車両費 460円

・賃借料	47,900円	・保険料	6,420円
・租税公課	1,376円	・支払い手数料	165円
・広告宣伝費	4,685円	・租税公課(管)	4,014円
・法定福利費(管)	590,128円		

(3) 収益

総合計 7,988,241円

(内訳)

○各支部、エリア指導料 7,988,241円

・日進市	5,907,100円	・千葉	1,200,000円
・岐阜	881,000円	・受取利息	141円

(4) 反省点・改善ポイント

利用者支援の実績は令和5年度前年度比、1.9倍の延べ324人となった。今後も利用者数は増加すると思われる。その為、支援体制の充実を図り、日進市委託料の予算拡充の提案と被保護者の就労準備支援基盤整備及び職場見学や就労体験の機会を増やし、より充実した支援プログラムと関係諸機関連携を図る必要がある。



(イ) 「⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業／その他」

事業内容

社会問題化する社会的孤立「ひきこもり」や「生活困難を抱える若者」の実態（原因・課題）を知り理解を深め、公的支援や共助互助の地域資源である支援諸機関情報の共有を図り、有機的な支援ネットワークの醸成を促し、誰一人取り残さない市民協働の持続可能な地域共生社会づくりを目指す交流会として開催。日進市健康福祉部地域福祉課祖父江課長より開催趣旨挨拶から始まり、金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科准教授橋川健佑氏による基調講演（引きこもりの支援を通じた地域共生社会づくり～事例と課題～）、日進市における引きこもり等の支援状況と事例として「くらしサポート窓口・自立相談支援」や「いくるば にっしん・就労準備支援事業」、利用者の体験談等の事例発表、また活発な質疑応答や引きこもり支援の地域づくりへの意見交換会を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
--------------------	----------	--	------------------------	-----------------

⑤生活困窮者等 就労準備支援、 社会的包摂推 進に係る事業 (その他)	日進市で誰ひとり取り 残さない持続可能な地 域共生社会を目指して 「生活困難を抱える若 者やひきこもりなどの 支援と地域づくりに関 する講演会」開催 日進市市民自治推進補 助金事業(地域福祉課協 働)	(A)2024年(R6) 1月27日 13:00～16:30 (B)日進市民会館 2階会議室 (C)4人	(D)日進市福 祉団体関 係諸機関 及び市民 (E)32人	77,330円
---	---	---	---	---------

(2) 総費用

総合計 77,330円

(内訳)

・諸謝金	57,000円	・印刷製本費	7,830円
・通信運搬費	84円	・消耗品費	3,141円
・支払手数料	165円	・広告宣伝費	9,110円

(3) 収益

総合計 77,000円

(内訳)

市民協働課 補助金 77,000円

(4) 反省点・改善ポイント

市民協働課の市民自治活動推進補助金を活用しての地域福祉課提案の協働事業を3年継続することにより、当法人と生活困窮者等就労準備支援「いくるばにっしん」事業の取組みの理解と関係諸機関の有機的な連携を深める機会となる。今後も同様の事業を推進し、持続可能な地域共生社会づくりを促す必要がある。



【⑥食育を推進する事業】

※ 講師等役職名前は敬称略

事業の成果

食育を推進する事業として、農林水産省「消費・安全対策交付金」事業として、シンポジウム、教育ファーム検討委員会を開催。食育イベントは、毎年恒例の食育感謝祭を開催。食育関係として、昨年に続きにっしん市民まつりに参加。また今年度も、食育、食農、環境の4大イベントの食事提供を行う。伝統料理講座では、夏野菜を活用した調理実習講座を実施。

(ア) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

事業内容

前年度に続き、令和5年度農林水産省交付金事業を受託し実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事 (食育推進)	令和5年度 農林水産省 交付金事業	(A) 2023年(R5) 4月1日～ 2024年(R6) 3月31日 (B) 愛知県内 (C) 15人	(D) 全国民 (E) 不特定 多数	30,810円

(2) 総費用（無償ボランティア 15人）

総合計 30,810円
(内訳)

・諸謝金 30,810円

(3) 収益

総合計 287,000円
(内訳)

(4) 反省・改善ポイント

道の駅マチテラス日進がオープンする事から、今後の事業に対して柔軟に対応していく必要がある。

(イ) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

事業内容

令和5年度農林水産省消費・安全対策交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け実施。
食や農業への理解を深めてもらう農業体験機会を提供する為に、昨年に引き続き日進市にて教育ファーム検討委員会を開催し、より充実した食育・食農共育プログラムを企画開発。

第3回は、初参加の委員の自己紹介と令和6年度以降の畑での食育プログラムを検討。
第4回には、愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン2025」について愛知県食育消費流通課の小嶋氏より説明。第3次日進市食育推進計画を日進市農政課森拓磨氏より説明。
令和6年度以降の畑での食育プログラムを検討。

第5回は、令和5年度以降の畑での食育プログラムまとめを行い、参加者からの提案やこれ迄での感想を発表。

令和6年度農林水産省消費・安全対策交付金(愛知県 地域での食育の推進事業)を受け実施。
第1回は、事業趣旨、食育推進法成立の背景、食育の基本法の体系、第4次食育推進基本計画について説明。委員の自己紹介、令和6年度日進アグリスクールの活動紹介を実施。

第2回は、道の駅マチテラス日進の概要などや第1回目不参加だった参加者の自己紹介、令和7年度以降の日進アグリスクールと道の駅マチテラス日進での食育プログラム開発についての検討を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和5年度 第3回教育ファーム 検討委員会	(A) 2024年(R6) 1月23日 10:00～11:45 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 11人	2,500円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和5年度 第4回教育ファーム 検討委員会	(A) 2024年(R6) 2月27日 10:00～11:00 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 12人	11,290円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和5年度 第5回教育ファーム 検討委員会	(A) 2024年(R6) 3月9日 10:00～11:00 (B) 日進市民会館 (C) 4人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 14人	97,120円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和6年度 第1回教育ファーム 検討委員会	(A) 2024年(R6) 11月26日 10:00～11:45 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 11人	4,750円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、消費・ 安全対策交付金) 令和6年度 第2回教育ファーム 検討委員会	(A) 2024年(R6) 12月17日 10:00～11:45 (B) 日進市民会館 (C) 2人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 8人	7,318円

(2) 総費用(無償ボランティア 15人)

総合計 122,978円

(内訳)

・賃借料	9,380円	・諸謝金	90,000円
・通信運搬費	220円	・印刷製本費	12,740円
・消耗品費	5,188円	・旅費交通費	5,450円

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

愛知県、日進市職員より食育推進基本計画の説明を受け、食育に対しての理解を深める事が出来た。今年6年度は、道の駅マチテラス日進の受託事業社も参加しており、道の駅マチテラス日進に直結した食農・食育共有プログラム開発が期待出来る。



(ウ) 「⑥食育を推進する事業／食育推進」

事業内容

「令和5年度消費・安全対策交付金（地域での食育の推進事業）事業

「にしんスタジオアグリFOOD EDUCATION 2024 in にしん」を開催。

広く多くの一般県民に対し、各ライフステージにおける食生活の課題や地域農産物の現状を伝え、毎日の食事が自然の恩恵の上に成り立ち、生産者をはじめ、多くの関係者により食が支えられている事知り、食に対する感謝の気持ちを深め、地産地消の推進と農林水産業の役割と理解促進や食を通じた環境への関心を高める事を目的に実施。ドキュメンタリー映画『弁当の日』上映会と同作品の監督である安武信吾氏による講演、農事体験発表会を愛知県立大学インターンシップ生 清水弥乃氏、曽根千智氏、教育ファーム検討委員会 山田真也氏、五島睦氏にて発表。また、中京大学今井ゼミの生徒より日進アグリスクール内で企画した食育食農体験イベントなどについてを発表。又、米や野菜が出来る迄の栽培工程や日進市での米作り、6次産業体験コースについてのパネル展示。日進アグリスクールで栽培したもち米の試食や里芋重量当てクイズ、もみすり体験、脱穀機体験、はざがけ展示、昔ながらの農具展示を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、愛知県地域での食育の推進事業)「にしんスタジオアグリFOOD EDUCATION 2024 in にしん」として映画上映、講演会、農業体験発表	(A) 2024年(R6) 3月9日 13:00～16:45 (B) 日進市民会館 小ホール (C) 14人	(D) 一般市民 (E) 81人	451,655円

	などを実施			
--	-------	--	--	--

(2) 総費用（無償ボランティア 14人）

総合計 451,655円

(内訳)

・諸謝金	80,000円	・保険料	4,200円
・消耗品費	6,177円	・広告宣伝費	143,550円
・賃借料	122,080円	・雑給	32,864円
・印刷製本費	2,000円	・支払手数料	2,090円
・旅費交通費	39,370円	・仕入高NPO	15,000円
・通信運搬費	4,324円		

(3) 収益

総合計 105,760円

(内訳)

・一般大人（高校生以上）前売り	73,800円（1,800円×41人）
・一般大人（高校生以上）当日	18,000円（2,000円×9人）
・学生	10,000円（500円×20人）
・雑収入	3,960円

(4) 反省・改善ポイント

託児等を行い、参加が望まれる子育て世代の家族やアグリスクール参加者が参加出来る様にしていく必要がある。



(エ) 「⑥食育を推進する事業／食育イベント」

事業内容

第1回食育イベントを「大自然の恵みに感謝『食農感謝祭』杵や臼を使ってお餅をつこう！和太鼓演奏をきいて、体験しよう！」を開催。

今回は、とよたまちさと未来塾+のプログラムとして開催。活動紹介の後、昔ながらの杵や臼を使った餅つきを完全オーガニックで栽培した峰のむらさき、きぬはなもち、みやたまもちを使い実施。餅つき後は参加者全員でもちまるめを体験。足踏み脱穀機体験も実施。

和太鼓グループTSUWAMONO彩の鈴木氏不参加の為、柴山氏が代理参加。和太鼓演奏、和太鼓体験会も行う。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進	第1回食育イベント	(A) 2024年(R6)	(D) 自然との	3,930円

する事業 (食育 イベント)	「食農感謝祭」を開催 杵と臼を使用した昔な がらのもちつき、もち まるめ、活動紹介。和太 鼓演奏、和太鼓体験会	11月24日 9:30～13:30 (B)豊田市棒の手 会館裏当会圃 場 (C)13人	共生に、安 心安全な 食育・食農 に関心が ある市民、 会員 (E)44人	
----------------------	---	--	---	--

(2) 総費用 (無償ボランティア 13人)

総合計 3,930円

(内訳)

・賃借料	2,400円	・通信運搬費	330円
・保険料	1,200円		

(3) 収益

総合計 53,500円

(内訳)

・一般大人 (高校生以上)	24,000円 (2,000円×12人)
・会員大人 (高校生以上)	13,500円 (1,500円×9人)
・中学生	0円 (2,000円×0人)
・小学生以下	3,000円 (500円×6人)
・未就学児 (3歳以下)	0円 (500円×0人)
・スタッフ	13,000円 (1,000円×13人)

(食事代 希望者のみ)

(4) 反省・改善ポイント

本年も棒の手会館裏の圃場で実施。昨年の経験をもとに行い会場の準備はスムーズに行う事が出来た。又、新規会員も準備から協力を得る事が出来た。



(オ) 「⑥食育を推進する事業／食育イベント」

事業内容

「食農感謝祭ミニinにつしん」を開催。

日進市で初めての餅つき体験会を開催。当会の活動紹介の後、昔ながらの杵や臼を使った餅つきを完全オーガニックで栽培した峰のむらさき、きぬはなもち、みやたまもちを使用し実施。餅つき後は、参加者全員でもちまるめを体験。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育イベント)	「食農感謝祭ミニinにっしん」を開催 杵と臼を使用した昔ながらのもちつき、もちまるめ	(A)2024年(R6) 2月11日 9:30～12:00 (B)日進市本郷町 圃場 (C)14人	(D)自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (E)54人	22,010円

(2) 総費用（無償ボランティア 14人）

総合計 22,010円

(内訳)

・仕入高NPO 22,010円

(3) 収益

総合計 49,500円

(内訳)

- ・参加費（小学生以上） 30,000円（1,000円×30人）
- ・未就学児（3歳以下） 4,500円（500円×9人）
- ・スタッフ 7,000円（500円×14人）
- ・現物寄附 8,000円

(4) 反省・改善ポイント

日進市で初めての開催ということもあり、過去のアグリスクール参加者とボランティア参加者を中心に募集した所、すぐに募集定員に達した。畑の中での餅つきは、非日常的な雰囲気もあり、心やお腹が満たされ喜びとなる体験型イベントは集客に繋がる事はもちろん、参加者との交流をする事が出来る。また当会の活動紹介をする機会となった。



(カ) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」

事業内容

イベントの残り調味料を販売、必要消耗備品を購入。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	食育関係 イベントの残り調 味料販売と必要消 耗備品の購入	(A) 2024 年(R6) 1月1日～ 12月31日 (B) 豊田市猿投町 農事専従者寮 (C) 5 人	(D) ー (E) ー	10,462 円

(2) 総費用(無償ボランティア 5人)

総合計 10,462 円

(内訳)

・消耗品費 9,262 円 ・印刷製本費 1,200 円

(3) 収益

総合計 0 円

(内訳)

(キ) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」

事業内容

今年度も、豊田市で開催している食育、食農、環境イベントにて、薬膳的効能を考慮した食事を提供。材料は当会で栽培した完全オーガニックの米や野菜を使用。参加者より毎回美味しかったと好評。幼児も大人と同じ様に確りと食べている姿が印象的。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	第1回 食農イベント 「親子で楽しむ♪ 食農・食育体験 む らさきのお米の田 植えをしよう！」を 開催	(A) 2024年(R6) 5月5日 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 13人	(D) 自然との共生 に、安心安全な 食育・食農に関 心がある市民、 会員 (E) 25 人	16,755 円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	第1回 環境イベント 「自然と共生する 田んぼで生き物み つけ♪」を開催	(A) 2024 年(R6) 8月4日 9:30～13:30 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 34人	21,979 円

		(C) 12 人		
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	第2回 食農イベント 「昔ながらの稲刈 り体験と完全オー ガニックのお米、お 味噌を使った五平 餅作り♪」を開催	(C) 2024年(R6) 10月13日 9:30～13:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 12人	(D) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E) 55人	19,822 円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	第1回 食育イベント 「食農感謝祭」を開 催 杵と臼を使用した 昔ながらのもちつ き、もちまるめ、活 動紹介。和太鼓演 奏、和太鼓体験会	(A) 2024 年(R6) 11月24日 9:30～13:30 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 13 人	(D) 自然との 共生に、安心 安全な食育・ 食農に関心が ある市民、会 員 (E) 44 人	51,112 円

(2) 総費用（無償ボランティア 50人）

総合計 109,668円

(内訳)

○食育関係 田植え体験 (5/5)	16,755円		
・仕入高NPO	13,135円	・消耗品費	1,240円
・賃借料	2,380円		
○食育関係 生き物調査 (8/4)	21,979円		
・仕入高NPO	20,779円	・賃借料	1,200円
○食育関係 稲刈り (10/13)	19,822円		
・仕入高NPO	12,984円	・消耗品費	6,838円
○食育関係 食農感謝祭 (11/24)	51,112円		
・仕入高NPO	37,299円	・消耗品費	13,813円

(3) 収益

総合計 126,200円

(内訳)

○食育関係 田植え体験 (5/5)	20,000円
○食育関係 生き物調査 (8/4)	28,800円
○食育関係 稲刈り (10/13)	34,400円
○食育関係 食農感謝祭 (11/24)	43,000円

(4) 反省・改善ポイント

2024年は、暖冬や猛暑の影響が続き、野菜の生育状態も思わしくなかった為、イベントで使える野菜の品目が少なく、献立の内容変更や創意工夫が必要だった。



(ク) 「⑥食育を推進する事業／食育関係」

事業内容

「にっしん市民まつり」に出店。

2022年より継続して出展。にっしん五平餅の地域ブランド化を目的ににっしん五平餅の販売や当会の活動紹介や市制30周年記念事業市民公募事業の「にっしん食の学校」を案内。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	「にっしん市民まつり」に出店 五平餅の販売と活動 紹介	(A) 2024 年(R6) 11月17日 9:00～15:00 (B) 日進市役所 (C) 6 人	(D) 日進市民 など (E) 不特定 多数	41,105 円

(2) 総費用（無償ボランティア 6人）

総合計 41,105 円

(内訳)

・仕入高NPO	7,686 円	・賃借料	15,000 円
・消耗品費	12,519 円	・保険料	3,700 円
・支払手数料	2,200 円		

(3) 収益

総合計 57,000 円

(内訳)

・にっしん五平餅販売 300 円×190 本＝57,000 円

(4) 反省・改善ポイント

13 時頃には完売することができた。完全オーガニックの五平餅を日進市で広く PR していく為、『にっしん五平餅』ののぼり旗製作の検討が必要。



(ケ)「⑥食育を推進する事業／伝統料理」

事業内容

「令和6年度消費・安全対策交付金（地域での食育の推進事業）事業
伝統料理講座 にしん夏定食を作ろう」を開催。

地産地消の推進と農林水産業の役割と理解の促進、郷土料理等の地域の食文化の継承等、
県民一人一人が食の大切さを理解し主体的に食育に取り組む事を目的に実施。有機循環自
然農法で栽培した野菜を包丁で切る事や酢味噌づくり、天ぷらを揚げる方法等を調理実習。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (伝統料理)	(令和6年度消費・安全対策交付金（地域での食育の推進事業）） にしん夏定食を作ろう	(A)2024年(R6) 8月25日 10:00～13:00 14:00～17:00 (B)日進市民会館 調理実習室 (C)5名	(D)一般市民 (E)9名	92,073円

(2) 総費用（無償ボランティア 5人）

総合計 92,073円

(内訳)

・仕入高NPO	25,295円	・消耗品費	5,618円
・賃借料	23,450円	・広告宣伝費	2,720円
・保険料	1,200円	・旅費交通費	2,790円
・諸謝金	31,000円		

(3) 収益

総合計 15,800円

(内訳)

参加費

・大人（高校生以上）	14,000円（2,000円×7人）
・小中学生	1,000円（1,000円×1人）
・未就学児	800円（800円×1人）

(4) 反省点・改善ポイント

日進ツアーズでの集客力に期待したが伸びなかった。日進アグリスクールからの参加者

が少ない状況であった。十分にコミュニケーションが取れていない時期であった為と考えられる。今後は開催時期も含めての検討が必要。



**【⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業】
事業の成果**

※ 講師等役職名前は敬称略

その他この法人の目的を達成する為に必要な事業として、協働事業は、日進アグリスクールを継続。米作り体験コース、オーガニック野菜作り体験コースの2コースを実施。

又、日進市制30周年記念市民公募事業補助金事業として「にっしん食の学校」を実施。

(ア) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

事業内容

農地賃借料と圃場管理経費

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	農地賃借料と圃場管理経費	(A) 2024年(R6) 1月1日～ 12月31日 (B) 豊田市、日進市 当会圃場 (C) —	(D) — (E) —	42,300円

(2) 総費用

総合計 42,300円

(内訳)

・賃借料 41,970円 ・支払手数料 330円

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

今後も地主との繋がりを大切にして事業を進める。

(イ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

事業内容

日進市の委託事業として「日進アグリスクール米作り体験コース」を開催。

5月12日、第1回「田植え」を開催。最初に開講式として、主催者挨拶、参加者の自己紹介を家族毎に行い、にっしん体操後、苗取りと田植えを開始。レクチャーは塩田悦己が担当。苗は峰のむらさきを使用。今回も苗取りや田植えをする事が初めての家族が多かったが、一生懸命に楽しんで作業。

7月28日、『自然・生き物観察、どろリンピック』を開催。にっしんESD総合共育プロジェクト、共育ファームの意義を説明し、受講生の苗についてインタビューを行い実施。恒例となった田んぼの中や外にある雑草や植物を見つけながら、「テデトールビンゴ」と題して、どんな草たちが生えているかをビンゴの形にして見つけた草をチェック、併せて生き物調査を実施。どろリンピックでは田んぼ距離走を行う。各家族から大人の部、小中学生の部、幼児の部も開催し、各部の優勝者には昨年収穫した「峰のむらさき」とメダルを贈呈。

9月29日、第3回「稲刈り・はざがけ」を開催。22日が雨天の為延期。昔ながらの手鎌での稲の刈り方やはざがけを実施。田植えから始まり、無事に収穫まで成長した稲を見て、感慨深げに収穫している参加者の表情が印象的。昔ながらの手鎌での稲刈りやはざがけ等行う事により、食農の大切さや自然の恵みへの感謝を伝える良い機会となる。

10月6日、第4回「足踏み脱穀・わらリンピック」を開催。昔ながらの足踏み脱穀機を使用した脱穀方法やわらとり、わら切り、わらまきをグループ毎に分かれて実施。又、コンバインを持ち込み、収穫から脱穀、わら切り迄を現代では機械一連で出来る事を説明。わらリンピックでは、わらなげ競争、わらを使った二人三脚風リレー実施。子どもから大人までもが、一生懸命になり白熱する内容となる。又、脱穀から藁まきまでの一連の流れを体験する事で、昔ながらの方法を知る事が出来、食農の大切さを伝える。

10月27日、第5回目は『もみすり・工作・試食』を開催。すり鉢、一升瓶を使った粃摺りやとうみ、選別を実施。また脱穀後の藁を使ったクリスマスリース作りを実施。またアグリスクールで栽培した峰のむらさきの試食。これ迄の振り返りを実施。参加者は粃摺り、クリスマスリース作りと楽しんで取り組む。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 米作り体験コース 田植え	(A)2024年(R6) 5月12日 9:30~12:00 (B)日進市米野木町 当会圃場 (C)7人	(D)一般市民 (E)42人	6,214円
⑧その他この法人の目的を達成するために	第2回 米作り体験コース 生き物観察、テデト	(A)2024年(R6) 7月28日 9:30~12:00	(D)一般市民 (E)33人	770円

必要な事業 (協働事業)	ールビンゴ、どろリンピック	(B) 日進市米野木町 当会圃場 (C) 7 人		
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第3回 米作り体験コース 峰のむらさきの稲刈りとはざがけ	(A) 2024 年(R6) 9月29日 9:30~12:00 (B) 日進市米野木町 当会圃場 (C) 5 人	(D) 一般市民 (E) 42 人	3,396 円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第4回 米作り体験コース 峰のむらさきの足踏み脱穀、わらリンピック	(A) 2024 年(R6) 10月6日 9:30~12:00 (B) 日進市米野木町 当会圃場 (C) 6 人	(D) 一般市民 (E) 35 人	1,440 円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第5回 米作り体験コース もみすり 工作 試食	(A) 2024 年(R6) 10月27日 9:30~12:00 (B) 日進市米野木町 当会圃場 (C) 7 人	(D) 一般市民 (E) 41 人	4,488 円

(2) 総費用（無償ボランティア 32人）

総合計 16,308 円

(内訳)

・印刷製本費	1,020 円	・通信運搬費	180 円
・車両費	3,000 円	・消耗品費	12,108 円

(3) 収益

総合計 469,150 円

(内訳)

・事業収益 469,150 円

(4) 反省点・改善ポイント

広報にっしんや日進市のサイトやメールにて集客を実施。ふるさと納税者申し込みは無し。連続での参加者もみえて日進市でも定番の企画となる。

今年度からどろリンピックを生き物観察と同時開催に変更。飽きやすい子どもたちにとっても長い時間イベントに参加出来る形となる。

中京大学今井ゼミ生徒、スタッフ、参加者のコミュニケーションが回を重ねる事に向上。本事業での交流から別イベントへの参加率向上も期待。

足踏み脱穀機とコンバインでの脱穀の違いを見学する事で、農業の大変さをより知る事が出来た。又食に対するありがたさをより感じる機会を提供。

前回の反省も活かし、リース準備も計画的に行う予定が、10月に入り稲刈りなどスケジュールが立て込んだ為抜けがあった。チェックリストなどを作り抜け防止対策を行う。



(ウ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

事業内容

日進市の委託事業として「日進アグリスクールオーガニック野菜作り体験コース」を開催。本事業は日進市より委託を受け5年目。

4月21日、第1回「畑畝づくり・里芋植え付け」。開講式の後、スタッフや受講生の自己紹介、にっしん体操、日進アグリスクールオーガニック野菜作り体験コース日程内容を説明。塩田悦己が講師を務め、畝づくりや里芋の植え付け、除草、草マルチ等を実施。初めて畑作業をする参加者もあり農業の大変さと楽しさを実感。

6月2日、第2回「土づくり、管理作業」を開催。当会のにっしんESD総合共有プロジェクトの趣旨を説明。農機具の使い方を解説の後、里芋の土寄せや施肥等の管理作業と夏野菜を植え付け。参加者は前回植え付けした里芋の成長を喜ぶ。夏野菜はナス、トマト、オクラなど複数の野菜の植え付けを体験。

7月21日、第3回「畑畝づくり・大豆播種・夏の管理作業」を開催。里芋の管理作業として草刈り作業、土寄せ追肥を実施。夏野菜の管理作業・収穫、大豆播種などを実施。サブライズで食農スタッフが育てたオーガニックのスイカを提供し水分補給。

10月22日、第4回「試し掘り・管理作業」を開催。里芋収穫の説明後、前半は里芋の管理作業と里芋の試し掘りを実施。初めて里芋を掘る参加者あり。後半はサツマイモ試し掘り、枝豆収穫を実施。

11月3日、最終回「収穫・試食・種芋保管など」を開催。参加者が育てた里芋を収穫し、前回掘り起こしておいた里芋やサツマイモを焼き芋にして提供。前回より更に大きく成長した里芋を収穫し量の多さに驚き満足となる。又、試食で提供した里芋は自分で育てた事により、美味しさが増し喜びとなる。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 野菜作り体験コース 畑畝づくり、里芋植え付け	(A) 2024年(R6) 4月21日 9:30~12:00 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 4人	(D) 一般市民 (E) 33人	12,696円

⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第2回 野菜作り体験コース 土づくり、管理作業	(A) 2024 年(R6) 6月2日 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 4 人	(D) 一般市民 (E) 24 人	6,304 円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第3回 野菜作り体験コース 畑畝づくり、大豆播 種、夏の管理作業	(A) 2024 年(R6) 7月21日 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 5 人	(D) 一般市民 (E) 22 人	1,300 円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第4回 野菜作り体験コース 試し掘り、管理作業	(A) 2024 年(R6) 10月20日 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 5 人	(D) 一般市民 (E) 32 人	650 円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第5回 野菜作り体験コース 収穫、試食、種芋保管 など	(A) 2024 年(R6) 11 月 3 日 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 6 人	(D) 一般市民 (E) 34 人	3586 円

(2) 総費用（無償ボランティア 24人）

総合計 24, 536 円

(内訳)

・仕入高NPO	4, 920 円	・印刷製本費	730 円
・車両費	4, 556 円	・消耗品費	14, 330 円

(3) 収益

総合計 469, 150 円

(内訳)

・事業収益 469, 150 円

(4) 反省点・改善ポイント

昨年の米作り体験コースに参加した家族もおり参加者が増加。また、昨年に引き続き参加の家族もいて恒例化となる。

第2回は、早朝の雨模様にて開催が危ぶまれたが開始時間に雨がやみ実施。梅雨入りなど天候にも配慮のスケジュールが必要。

第3回は、気温が高い中での作業の為、随時休憩が必要。熱中症になる参加者はおらず無事終了したが、暑さ対策の見直しが必要。

第4回は、初めて大きなスコップなどを使用する子どもがおり、振り回す可能性があった。収穫の際、グループごとに適度な距離を取る事が必要。

第5回は、前回に里芋を試し掘りする事で参加者もスムーズに収穫。新規会員もスタッフ側で参加する事で、スタッフ育成の一環となる。



(エ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

事業内容

日進ツアーズ2024のプログラムとして、「完全オーガニックの里芋を収穫して食べよう♪」をLa CLo（ラクロ）協力のもと開催予定だったが、集客が伸びず中止。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	日進ツアーズ 2024 「完全オーガニックの里芋を収穫して食べよう♪」 開催中止	(A) 2024年(R6) 11月17日 14:00～16:00 (B) 日進市本郷町当 会圃場 (C) 0人	(D) 一般市民 (E) 0人	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会より日進ツアーズへ変更とともに委託会社も変更している。集客アピールが少なく、日進市民の認知度も下がり集客が伸びなかった。今後開催するかは検討が必要。

(オ) 「⑧その他この法人の目的を達成する為に必要な事業／協働事業」

事業内容

日進市制30周年記念市民公募事業補助金事業として「にっしん食の学校」を開催。

食育に関する映画の上映やワークショップ、基調講演を行う事で食育を通じた子育て世代の親子、教育関係者、地域住民へ共に育つ『共育』を実施。第6次日進市総合計画の基本目標にある「学びと文化で未来を創る人財を育てることへ繋げていくこと」を目的に開催。五平餅づくり、弁当の日上映会、弁当の日提案者の竹下和男氏による講演を実施。

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(C) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	「にっしん食の学校」を開催 五平餅作り、弁当の 日上映会、竹下和男 氏講演	(A) 2024 年 (R6) 12月8日 12:30～16:00 (B) 日進北部福祉会 館 (C) 12 人	(D) 一般市民 (E) 55 人	243,077 円

(2) 総費用 (無償ボランティア 12人)

総合計 243,077円

(内訳)

・仕入高NPO	11,382円	・諸謝金	120,000円
・旅費交通費	25,000円	・通信運搬費	494円
・消耗品費	2,996円	・賃借料	55,000円
・保険料	3,300円	・支払手数料	495円
・広告宣伝費	24,410円		

(3) 収益

総合計 212,500円

(内訳)

・受取補助金	200,000円	・ワークショップ	12,500円
--------	----------	----------	---------

(4) 反省点・改善ポイント

日進市の行政施設や小学校、学童などへチラシ配布、市民へのメール配信をしたが集客が伸びず。託児など子育て世代が参加しやすい環境を整える必要がある。



(2) その他の事業に係る事業

※本年度は実施せず。

■事務局管理費

1 総費用

総合計 3,371,237円

(内訳)

管理費の内訳

仕入高NPO	68,040円
印刷製本費（管理）	18,420円
通信運搬費（管理）	409,990円
消耗品費（管理）	40,198円
水道光熱費（管理）	217,352円
地代家賃（管理）	1,080,000円
賃借料（管理）	3,840円
広告宣伝費（管理）	34,351円
接待交際費（管理）	13,078円
諸会費（管理）	43,375円
租税公課（管理）	824,347円
支払手数料（管理）	618,246円

2 収 益

総合計 3,819,674円

（内訳）

正会員受取会費	771,000円
団体・企業受取会費	140,000円
受取入会金	5,000円
寄附金収入	2,865,304円
受取利息	2,870円
雑収益	35,500円

※次年度以降の事業に対して今年度多大な寄附金を頂いた。

3 会議の開催に関する事項

【1】通常総会

（1）開催日時及び場所

第16回 通常総会を開催。

2024年(令和6年)3月16日 12:00～13:30

ウィルあいち セミナールーム1、2

会員・一般 58人

（内訳） 個人正会員 当日参加者36人 委任状19人 一般 3人

（2）総費用（無償ボランティア10人）

総合計 48,790円

（内訳）

・印刷製本費	14,724円	・旅費交通費	2,700円
・会場賃借料	18,200円	・通信運搬費	13,166円

(会場費、ワイヤレスマイク含む)

(3) 収益

総合計 20,500円

(内訳)

《 通常総会 & マザリーアースプロジェクトセミナー 》

- ・参加費 17,500円 (500円×35人)
- ・一般 3,000円 (1,000円× 3人)

(4) 反省点・改善ポイント

- ・前年度末までに、スケジュールを作成し準備状況を管理共有していく。
- ・第一号議案、第二号議案の審議、一緒に行う。総会進行表を見直す。



ア 通常総会

・開催日時及び場所

2024年(令和6年)3月16日 12:00～13:30

ウィルあいち セミナールーム1、2

・議題

- | | | |
|-------|--------------|---------------------|
| 第一号議案 | 2023年(令和5年)度 | 事業報告、決算報告について |
| 第二号議案 | 2023年(令和5年)度 | 監査報告について |
| 第三号議案 | 2023年(令和5年)度 | 寄附金活用報告について |
| 第四号議案 | 2024年(令和6年)度 | 事業計画(案)、活動予算(案)について |
| | 2025年(令和7年)度 | 事業計画(案)、活動予算(案)について |
| 第五号議案 | 2024年(令和6年)度 | 運営組織・人事(案)について |
| 第六号議案 | 定款変更について | |
| その他 | | |

【2】理事会

第1回理事会

・開催日時及び場所

2024年(令和6年)1月22日 9:00～12:00

鶴舞事務所

・審議事項

- ①令和6年度事業方針案について
- ②令和6年度各事業部門予算案について

- ③通常総会について
- ④日進市の物件について
- ⑤その他

第2回理事会

- ・開催日時及び場所

2024年（令和6年）2月25日 17:00～23:00

鶴舞事務所

- ・審議事項

- ①第16回通常総会審議について
- ②第16回通常総会プログラム案について
- ③通常総会資料案について
- ④日進市旧接骨院の借用、購入について
- ⑤その他

第3回理事会

- ・開催日時及び場所

2024年（令和6年）5月26日 9:05～12:30

鶴舞事務所

- ・審議事項

- ①日進市米野木物件の活用、事業について
- ②日進市の農業推進についての現状と課題報告について
- ③マザリーアースプロジェクトの原点について
- ④「子供」の表記について
- ⑤その他

第4回理事会

- ・開催日時及び場所

2024年（令和6年）6月10日 9:05～11:10

鶴舞事務所

- ・審議事項

- ①日進市の福祉事業について
- ②「子供」の表記について
- ③その他

第5回理事会

- ・開催日時及び場所

2024年（令和6年）9月10日 9:10～11:30

鶴舞事務所

- ・審議事項

- ①日進市の福祉事業について
- ②豊田圃場の利用権設定の更新について
- ③今後の食農（農業）事業の方針と計画について
- ④道の駅マチテラス日進への出展等に関する経過報告
- ⑤令和6年度愛知県「人にやさしい街づくり地域セミナー」について
- ⑥その他

第6回理事会

- ・開催日時及び場所

2024年（令和6年）12月30日 12:50～18:00

鶴舞事務所

- ・審議事項

- ①令和7年度事業方針（案）について
- ②令和7年度年間スケジュール（案）について
- ③令和7年度組織、監事、理事（案）について
- ④令和6年度寄附金使用について（案）について
- ⑤令和7年度各事業部門予算（案）について
- ⑥その他

4 勉強会の開催に関する事項

ア 課題解決ワークショップ

（1）開催日時及び場所

2024年（令和6年）3月16日 17:40～20:30

ウィルあいち セミナールーム1、2

（2）総費用（無償ボランティア10人）

総合計 49,845円

（内訳）

・仕入高NPO	37,800円	・賃借料	10,300円
・消耗品費	1,745円		

（3）収益

総合計 67,240円

（内訳）

・参加費	64,000円(2,000円×32人)
・雑収入	3,240円

（4）反省点・改善ポイント

黒田忠晃理事が、会場が和むようファシリテート、課題に対して活発に多くの意見が出た。今後も、それぞれが考えている事を共有し、事業内容が充実するようワークショップの機会を設ける。

イ 勉強会

持続可能な食農活動と適正な会計処理について

（1）開催日時及び場所

2024年（令和6年）3月17日 10:00～15:00

ウィルあいち セミナールーム1、2

（2）総費用（無償ボランティア7人）

総合計 4,920円

（内訳）

・印刷製本費	720円	・賃借料	4,200円
--------	------	------	--------

(3) 収益

総合計 13,500円
(内訳)

・参加費

・各支部会計担当者 13,500円 (500円×27人)

(4) 反省点・改善ポイント

塩田悦己理事、井口美奈子が講師担当。これまで食農活動についての共有がなされておらず開講。支部会員からも生産不安定な点の指摘を受ける。会計に関しては内部売上の説明内容についてまとまらず、今後事前の打ち合わせをより密にして進めていく事が必要。